

## 駒ヶ根市文化財

名称	吉瀬の宝篋印塔
種別	歴史資料
所在地	中沢吉瀬
説明	吉瀬十王堂の裏にあるこの塔は、銘が見当たらずまた相輪と塔身を欠いているが、型的には室町時代の塔と考えられる。

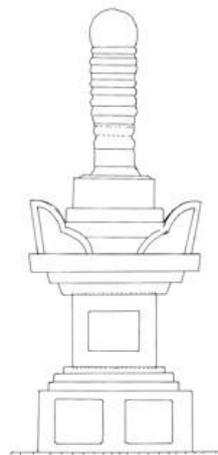
名称	穴山の宝篋印塔
種別	歴史資料
所在地	中沢菅沼
説明	この宝篋印塔(ほうきょういんとう)は、穴山の坂井家の墓地内にあるもので、石質は安山岩。総長 190cm、相輪が破損しており、後世に補修されているので、やや高さの問題がある。しかし、そのほかは良く保存されている。基礎に「信州伊那郡中沢郷願主等敬白明德三年壬申十一月日」と銘がある。先に発見された大楽寺跡出土の明德 3 年(1392)の宝篋印塔と併せ二例となった。大楽寺跡出土の宝篋印塔は相輪と身を欠いているが、穴山の宝篋印塔はほぼ完全に保存されており貴重である。



吉瀬の宝篋印塔



穴山の宝篋印塔



穴山の宝篋印塔図面